

JCK情報誌

2005年2月号

<日本語・中国語版>

発行：JCK株式会社

【TEL/电话号码】 03-5282-8209

【FAX/传真号码】 03-5282-8249

【ADDRESS/地址】 〒101-0064

東京都千代田区神田駿河台2-1-19

アルベルゴ御茶ノ水920

E-mail: info@jck.co.jp <http://www.jck.co.jp>

2月份的纪念活动和体育比赛：1日、电视广播纪念日 职业棒球营地训练开始、别府大分毎日马拉松。2日 国际航空业务恢复纪念日 国家体育运动会 冬季(冰球比赛) 3日 节分、4日 立春 6日 紫菜日 8日 忌节、相扑锦标赛大会(两国国技馆)、东京国际马拉松。11日 建国纪念日 文化勋章制度纪念日 14日 情人节 16日~3月15日 所得税确定申报 19日 万国邮政联盟加盟纪念日 22日 猫节 横滨国际女子长跑接力赛 23日 税理士纪念日 26日 职业棒球公开赛开幕 27日 28日 饼干节、日本排球联赛女子决赛(东京体育馆)-29日

2月の行事とスポーツ：1日=テレビ放送記念日、プロ野球キャンプイン、別府大分毎日マラソン。2日=国際航空業務再開の日。3日=節分。4日=立春。6日=海苔の日。8日=針供養。トーナメント大会(两国国技館)、東京国際マラソン。11日=建国記念日、文化勲章制定記念日。14日=聖バレンタインデー。16日-3月15日=所得税確定申告。19日=万国郵便連合加盟記念日。22日=猫の日、横浜国際女子駅伝。23日=税理士の日。26日 プロ野球オープン戦 28日=ビスケットの日。Vリーグ女子決勝(東京体育館)-29日。

日本介绍

※节分・立春 今年的立春为新历2月4日。立春前一天的节分(2月3日)、为日本全国性例行民俗节日、人们一边口呼“福在内、鬼出去!”、一边撒豆、以示驱赶给人们带来灾难的邪鬼、迎来新春。当天、各神社、寺院大都向人们交付写有“立春大吉”的除厄护身符。其年为本命年的男女(截止今年1月1日、日本有1,001万本命年男女、占总人口的7.9%、其中男性488万人、女性513万人)、前往神社、寺庙(其中、东京的浅草寺等颇为有名)、参加在那里举行的祭祀活动。此外、一般家庭、有的也进行撒豆活动。据说、撒豆习俗盛行于中国的明代、在日本的室町时代(1336~1573)传入日本、起初这类活动只在宫廷中进行。

※大雪和滑雪 日本的日本海一侧是世界上首屈一指的降雪地带。尤其是北陆地区(包括福井、石川、富山、新潟各县)、信越交界处(长野县与新泻、富山等县的交界处)一个晚上70厘米至1米的新雪并不稀奇。滋贺县伊吹山的山岳观测所于1927年2月17日纪录到的厚达11.82米。是世界最深的积雪纪录。在休闲日趋重视的现在,2月份又是滑雪的季节。据余暇开发中心统计,人们用于滑雪的金额全年为11万1,700日元(93年)、居海外旅行、高尔夫球、国内旅行之后、位居第4。近年,滑雪的年龄层也发生了变化。20-29岁年龄层前往滑雪的人数比例在1991年创下历史新高后、持续下滑,93年为41.8%、同样年龄层的女性则逐渐上升,93年为33.4%。60岁年龄层以上的男性、1988年为1.6%、1993年上升到5.3%。女性则一直在0.6%前后徘徊。另外,日本滑雪板市场上滑雪板的上市量约为260万块,据说「占到世界市场的约40%」(94年)。但自94年前后滑雪人口在顶峰期后、至2003年一直走低。

※春一番 指的是立春以后(西部日本在2月23日左右、东京则在2月25日左右)、温带低气压生成后通

日本についての紹介

※節分・立春 立春は新暦の2月4日で、立春前日の節分(2月3日)に、全国的にポピュラーな行事とも言われる豆撒きが行われる。「福は内、鬼は外」の掛け声と共に豆を撒き、疫病や災難を持ち込む邪鬼を追い払う追儺会は新しい春を迎えるための民俗行事。当日は社寺では「立春大吉」と書かれた厄除けの護符が交付される。その年の干支に当たった人年男(今年1月1日現在、年男・年女が全国で1001万人で全人口の7.9%にあたり、男性は488万人、女性は513万人)となり、社寺(中でも東京浅草の浅草寺が有名)等で行われる追儺会の祭りに参加する。尚、一般の家庭でも豆撒きをする。因みに、豆撒きは中国の明の時代にはやり、日本には室町時代(1336-1573)に伝わり、宮廷で行われたのが始まり。

※豪雪とスキー 日本の日本側は世界一の豪雪地帯。その北陸地方や信越地方では一晩に70cmから1mの新雪が降るのは珍しくない。滋賀県伊吹山の山岳測候所が1927年2月17日に記録した11.82mが世界最深記録。レジャー志向が重視される現在、この時期はスキーのシーズンでもある。余暇開発センターによると、スキーに掛ける金額は年間11万1,700円(93年)、海外旅行、ゴルフ、国内旅行について4番目。その年齢層を見ると、20代男性がスキーをした割合は91年をピークに減り、93年は41.8%、同女性は少しずつ増え、93年は33.4%。60代以上の男性は88年の1.6%が93年には5.3%に伸び、女性は0.6%前後で横這いと、変化が見られる。又、日本国内に出回ったスキー板は約260万、「世界市場の約4割を占める」といわれる(94年)。しかし、94年をピークに日本のスキー人口は2003年迄下がっている一途。

※春一番 立春以降(西日本では2月23日頃、東京では2月25日頃)日本海を温带低気圧が発達しながら、

过日本海、吹往日本列岛的温暖的南风。因为是在西北季节风劲吹的严冬、突然吹进南风、所以使人错觉到春天到来。由此、人们通过这第一号春风而亲身感到春天即将到来。不过、并不象“春一番”之名字一样、其风会给人一种温柔感觉。有时“春一番”的风速接近于台风、会给人们带来灾难。

※ 住民税・所得税確定申告 在日本，每到1月底、前往车站前及政府机构，就会看到2月16日至3月15日间为「所得税確定申告」期间的垂挂条幅。所得税是对从工资所得金额中扣除了所得扣除的金额（征税所得），乘上根据所得税的速算表中的相应税率后算出的。技能实习生及公司薪金人员的所得税由会社从每月的工资中扣除，年末时由会社对所得税额进行精算，即年末调整。因此，诸位不必在此期间进行确定申告。需申告者一般属下述几种情况。* 有事业所得・不动产所得等者，其所得总额超过扶养扣除等的所得扣除的总额时。* 有工资所得者，①其工资收入超过2000万日元者，②一年中除工资以外的副收入（不包括退職金）超过20万日元时，③在2处以上得到报酬收入等（详细可前往当地的市税务署咨询）。国家对所得进行征收的税为所得税，而都道府县及市町村对所得进行征收的税为则为住民税。属下述情况者，则需要缴纳住民税。* 薪金人员的工资中没有被扣除市（都）民税。* 在2处以上得到报酬收入者，没有必要进行所得税确定申告者等。综所周知，支撑现代国家・社会的是税金。国家和地方政府通过财政支出来向纳税者提供必要的服务。2000年度日本政府的「一般会計全年支出总额」为85兆日元，而「租税及印紙收入」为48兆6,590亿日元，占57.3%。日本政府收入的约60%是来自税金。顺便告及，所得税为18兆6,800日（占22.0%）元。

※ 大学入学考试的季节和入学考试特点 2005年1月15日、16日举行的中心考试的申请书受理从2004年10月4日开始。利用中心考试的大学、国立大学为83所、公立为72所、私立为408所、合计为563所。创历史新高。伴随着18岁人口的减少、报考人数为比2004年的58万7000人略低。报考期间至10月15日。据文部省2004年度的学校基本调查速报，进入大学、短期大学的升学率（包括往年没考上的学生）为49.9%、比上年度增加了0.9%。进入包括专修学校等在内的高等教育机构的升学率为74.5%，增加了1.6%。两者都创历史新高。与盛夏的7月举行的中国的全国性大学入学考试不同，日本的大学入学考试是在2月。另外，与一下子连续3天、考6门课、人生的命运一锤子定音的中国考试制度不同，日本的大学入学考试其特征总的来说参加考试机会多次化、考试方式多样化，私立大学入学考试的单独化、考试期间的长期化，考试科目“三科目型”定型化（私立大学在三科目以下，较多的国立、公立大学也从5科目转为3科目）等。国立、公立大学入学考试的日程一般为：10月中旬向大学入学考试中心报名参加考试。1月份的第3周（今年为20、21日）、大学入学考试中心举行考试。1月末至2月初，向各大学报名参加考试。其后考试一般分为连续式（仅为公立大学）和分离分割方式这二种方式。连续方式有A日程考试（2月25日起）、B日程考试（3月8日起）、C日程考试（3月12日起），3月23日公布及格者名单。在3月27日以前办理入学手续。与此对，后者的分离分割方式为前期日程考试（2月25日起进行，及格者发表在3月20-24以前，3月14日前办完入学手续），后期日程

通過する時、日本列島に吹き込む暖かい南風のこと。北西季節風が吹く真冬に南風が吹き、春のような馬鹿な天気になるのだから、人々が春一番によって春の訪れの近いことを肌で感じるのだ。が、その名の如く穏やかな風ではなく、台風並みの秒速で恐ろしい災難を引き起こすこともある。

※ 住民税・所得税確定申告 日本では一月末になると、駅前や政府機関に出ると、2月16日から3月15日迄の間、「所得税確定申告」の期間との垂れ幕がかかっている。所得税はその給与所得額から所得控除から差し引いた額（課税所得）に対し、所得税の速算表における税率を掛けて算出されたもの。技能実習生やサラリーマンの場合は毎月の給料から差し引かれ、年末に会社より年末調整が行われ、申告する必要はないと思われる。しかし、* 事業所得・不動産所得等がある方で所得合計が扶養控除等の所得控除の合計額を超える場合、* 給与所得がある方で、①給与収入が2000万円を超える場合②給与以外の所得（退職金を除く）が20万円を超える場合③給与を2カ所以上から受ける場合等幾つの条件に該当する場合は申告する必要がある（詳しくは市役所か税務署に問い合わせ）。国が所得を徴税する所得税に対し、都道府県及び市町村が所得徴税するのは住民税。* サラリーマンで給与から市（都）民税が引かれない方* 給与を2ヶ所以上から受けている方で、確定申告を必要としない方等が申告の対象。周知の様に、現代国家・社会を支えるのは税金である。国と地方政府が財政支出を通して納税者に必要なサービスを提供する。2000年度日本政府的「一般会計歳出総額」が約85兆円だが、「租税及び印紙収入」は48兆6,590億円で、57.3%。日本政府の収入の約60%は「税金」からなっている。因みに所得税は18兆6,800円（22.0%）となっている。

※ 大学入試のシーズンと入試特徴 2005年1月15日、16日に行われるセンター試験の願書受付は2004年10月4日始まった。センター試験を利用する大学は国立83校、公立72校、私立408校の計563校。過去最多。志願者数は18歳人口の減少に伴い約58万7000人だった2004年をやや下回る見通し。出願期間は10月15日迄。文部省の2004年度の学校基本調査速報によると、大学、短大への進学率（浪人を含む）は前年度比0.9ポイント増の49.9%、専修学校などを含めた高等教育機関への進学率は1.6%増の74.5%。共に過去最高。真夏の7月に大学受験の中国と異なり、日本では2月が大学の入試シーズン。又、一気に3日連続、6科目続けて試験を受け、人生を一発で決める中国の入試制度とも異なり、日本では総じて受験機会の複数化、方式の多数化、私立大学入試の単独化、試験期間の長期化、受験科目の「3教科型」定着化（私大は3教科以内、国公立も5教科から3教科への移行が多くなった）などが特徴となっている。国公立大入試の場合は先ず、10月中旬頃大学入試センター試験の出願受け付け、1月の3週目の土日（今年18、19日）に大学入試センター試験、1月末から2月初頭に各大学の出願受け付け。その後の試験は連続方式（公立のみ）と分離分割方式と2つの方式に分かれる。連続方式はA日程試験（2月25日から）、B日程試験（公立のみ・3月8日以降）、C日程試験（3月12日以降）があり、3月23日迄に合格発表、3月27日迄入学手続きとなっている。一方、後者の分離分割方式は前期日程試験（2月25日から合格発表は3月10日迄、入学手続きは3月

考试(3月12日起进行,3月24日前公布及格者名单,但前期的公布在3月6-10日、3月27日以前办理入学手续)。就以上内容稍作下说明:大学入学考试中心的考试开始于1979年,是在国立大学中采用的“第一次学力测试统考制度”。当时,把入学考试分为第一次和第二次,第一次考试由作为共同利用的机关而设立的大学入学考试中心所进行的学力统一考试。通过这次初选,在第二次考试中,则采用多种知识水平的评价方法,对入学者进行仔细的入学筛选。尔后,随着这种分离分割方式的多次进行,其不足之处·露出来,遭到大学内外的强烈批评,为此,采取了减少入学考试科目、参加考试机会多次化、扩大考试结果利用的自由度等改善对策,从90年开始,采用了“大学入学考试中心考试”制度。这种新制度的考试,其标记选择方式等考试方式,内容与以往同,但其不同之处是:不问国立、公立还是私立,所有的大学都可以利用这种考试制度,且能更自由地利用这考试结果。不过,按规定,所有国立、公立的大学必须利用这考试制度,目前利用这种制度的私立大学尚在少数,但其倾·在逐年增加。再则,上述所谓分离分割方式,指:国立大学在1987年以后,为增加考生参加考试的机会,将大学分成A、B两组,分别在不同的日子举行考试,这种考试的方式是,考试及格者打算进入哪组大学,本人可自由选择。但这种方式带来了大学方面很难最终把握入学人数不利之处。为此,一部分国立大学于1989年,将招生定额分为二组,即,对和A组于同日进行考试的及格者,在公布及格者名单时,当即让其办理入学手续,这种方式即为分离分割方式,后期的考试与B组于同日进行考试。其招生定额分配比前期考试的定额分配数要少,其倾·是主要采用科目知识水平测试以外的选拔方式。此外,私立大学的考试方式是,近年来用大学入学考试中心的考试制度的私立大学日见增多,但总的来说,私立大学独自进行考生入学考试仍为主流。近年来,私立大学中也采取了将招生名额分成几批,组织招生考试这种多次性考试方式,在地方也设置或增设考场,或采用二期·二次入学考试制等改进手段,因此出·了增加入学考试机会的多样化、广域化、考试长期化等倾·。最近,有全国最大难关之称的东京大学医学部,宣布在入学考试中全面引入面试方式。类似的大学入学考试改革已在各大学间展开。顺便告及,今年报名参加该考试中心的大学入学考试者为60万2,887人,比去年增加了约797人。

※ 大学入学考试中心考试 日本的大学入学考试中心考试开始于1979年,是在国立大学中采用的“第一次学力测试统考制度”。当时,把入学考试分为第一次和第二次,第一次考试由作为共同利用的机关而设立的大学入学考试中心所进行的学力统一考试。在第二次考试中,则采用多种知识水平的评价方法,对入学者进行仔细的入学筛选。尔后,采取了减少入学考试科目、参加考试机会多次化、扩大考试结果利用的自由度等改善对策,从90年开始,采用了新的“大学入学考试中心考试”制度。

※由数字看日本的大学生 截止93年,日本的大学数为534所。截止93年四年制大学本科数为238万9648人,女子大学生的比率为30.3%(93年),入学升学率为28%(男36.6%、女19%),大学·短大的升学率为40.9%(93年)。顺便告及,96年春季,东京都内四年制大学的升学率为3

14日迄)と、後期日程試験(3月12日以降、合格発表は3月20-24日(但し前期は3月6-10日)、入学手続きは3月27日迄)に分かれている。以上のことについて少し説明を加えよう。大学入試センター試験は1979年に導入された国立大学の「共通第一次学力試験制度」に始まる。当時、入学試験を第一次と第二次に分け、第一次試験は共通利用機関として設立された大学入試センターが実施する共通学力試験によるもの。第二次試験は多様な学力評価の方法を導入してのきめ細かな入学者選抜試験だ。その後、回を重ねるごとに弊害が現れ、大学内外の批判が強まり、試験科目数の削減、受験機会の複数化、試験結果利用の自由度拡大など改善策が取られ、90年から新しい「大学入試センター試験」制度が始まった。これは、マークシート方式等テストの方式・内容は同じだが、国・公・私立を問わず、すべての大学に、しかも結果のより自由な利用を認める点で従来と異なっている。ただ、国・公立大学のすべてが利用しているのに対し、私立大学の利用は少数だったが、年々増加の傾向にある。又、前述の分離分割方式とは、国立大学で1987年以降、受験機会の複数化のため、A・Bグループに分け、別の期日に試験を行い、どちらのグループの大学に入学するかは、合格者の自由に委ねる入試方式。しかし、この方式では、最終的な入学者の確定に困難が多いため、一部の大学が、89年に入学定員を2つに分け、Aグループと同日程で行う試験による合格者には、合格者発表と同時に入学手続きを取らせる分離分割方式を取り入れた。後期の試験はBグループと同日程で行われるが、一般に定員の配分は前期よりも少なく、科目別の学力試験以外の選抜方法が取られる傾向にある。一方、私立大学では、センター試験参加の学校の増加が見られるが、独自に入学試験を行うのが主流。又、ここ数年、定員を分けて入試方法を変える複数入試、地方試験会場の設置・増設、二期・二次入試の増加で、入試機会を増やす多様化、広域化、長期化の傾向も現れた。最近、日本一の難関といわれる東京大学医学部の入学試験に面接選考が全面的に導入されるなど、大学の入試改革が各大学で始まった。因みに今年、入試志願者数は60万2,887人、前年に比べ約797人増えた。

※ 大学入試センター試験について 日本の大学入試センター試験は1979年に導入された国立大学の「共通第一次学力試験制度」に始まる。当時、入学試験を第一次と第二次に分け、第一次試験は共通利用機関として設立された大学入試センターが実施する共通学力試験によるもの。第二次試験は多様な学力評価の方法を導入してのきめ細かな入学者選抜試験だ。その後、試験科目数の削減、受験機会の複数化、試験結果利用の自由度拡大など改善策が取られ、90年から新しい「大学入試センター試験」制度が始まった。

※数字で見る大学生 日本の大学の数は93年現在534校、大学生数(四年制)は93年現在、238万9,648人、女子大学生比率は30.3%(93年)、大学進学率は28%(男36.6%、女19.0%)、大学・短大進学率は40.9%(93年)。因みに96年春、東京都内の四年制大学の進学率は30.3%(女28.5%、男32.3%)、女子の「四年制志向」が年々高まっているのが特徴。大学入学に必要な費用は、私立大が高く、国公立が低い。早稲田大初年度納入金(文系)は94万1,100円(94年)。国立大学の入学金は学部(昼間部)27万円(96年) 大学入試センター(3教科以

0.3% (女28.5%、男32.3%)。特点是：女子的“四年本科生志”逐年增加。大学入学所需费用，私立大学较高，国立·公立较低。早稻田大学第一年度缴纳的费用(文科)为94万1100日元(94年)。国立大学的入学费，系部(白昼上课)为27万日元(96年)。大学入学考试中心(三科目以上)和系部第二次复试合计的考试费用为3万1千日元(96年度)。东京都大学生(寄宿生)全年的生活费是：国立大学的学费53万日元、生活费150万日元。私立大学则分别为110万日元和146万日元。由上所述，考生参加大学入学考试时的自然环境较为严峻，在入学之后，父母亲的经济负担状况也是同样的严峻。

※ 全员进入大学时代 据日本文部省的咨询机构「大学审议会」的测算，2009年报名大学·短期大学的应考人员和大学·短期大学的编制将趋于相同，即在数字上显示，日本将迎来希望入大学深造者都能进入某一所大学的「全员进入大学时代」。2003年度的大学·短期大学的志愿者人数为85万4000人，入学者人数为71万8000人。两者差为13万6000人。如果此差变为零的话，就是数字上的所有志愿者都能进入大学的全员进入大学时代。全员进入大学时代原来应该在2009年度到来，这比原来的预测提前2年，改在2007年度出现。10年前国立·公立·私立大学合计为552所，2004年增加到709所。这期间的升学率由43.3%提高到49.9%。18岁人口由186万人减少了41万人。2008年度将减少到120万左右。顺便告及，对于大学和短期大学来说，1992年可谓黄金时代。那年18岁人口达到历史新高，为205万人。尔后，1995年度降为177万人，96年度为173万人，人数持续减少，少子化(孩子减少)现象不断加剧。

中国国内新闻·文化·体育简讯

- *【新华社1月1日】总导演朗昆已经敲定2005年鸡年春节晚会主持人人选，去年春节晚会主持人李咏、朱军、周涛今年将再次拿起春节晚会话筒，而倪萍的位置则由央视新人董卿取代。
- *【新华社1月2日】到2005年1月6日，中国内地(不包括香港、澳门特别行政区和台湾省)总人口将达13亿。由于实行计划生育政策，使“世界60亿人口日”和“中国13亿人口日”的到来各推迟了4年。
- *【人民日报1月5日】2004年中国国产电影全年票房创历史新高，达36亿元，比2003年的22亿元增加66%。【人民日报1月4日】
- *【人民日报1月5日】截止2004年12月，居住在北京市的人数(不包括户籍人口1159万5千人和流动人口)达1524万4千人。
- *【新华社1月5日】全国流动人口数量从1993年的7000万增加到2003年的1.4亿，约占农村劳动力的30%。
- *【新华社1月5日】2000年第五次全国人口普查结果显示，在总人口中，15岁到64岁的劳动年龄人口所占比例最大，为70.15%。因此，劳动年龄人口将最先达到高峰。
- *【人民日报1月6日】现在，中国60岁以上人口已达世界的20%左右。中国的老龄化高峰将在2030年前后。

上)と二次試験の学部を合わせた受験料は31,000円(96年度)。東京都の大学生(下宿生)の年間学生生活費は国立大の場合、学費53万円、生活費150万円。私立大の場合はそれぞれ110万円、146万円となっている。以上のように、大学入試時の自然環境も厳しいが、入学後の大学生の家庭の財政のやりくりも厳しさを増している様だ。

※ 大学全入時代 日本文部省の諮問機関「大学審議会」の試算によると、2009年には大学・短大の志願者と定員がほぼ同じになり、数字の上では進学希望者はどこかの大学に入学できる「全入時代」を迎える。2003年度の大学・短大志願者数は85万4000人、入学者数は71万8000人。その差は13万6000人。この差がゼロになり、数の上では全ての志願者が大学に入学できるのが全入時代。全入時代の到来は2009年度になるはずだったが、従来予測より2年早い2007年度に修正している。10年前国公立を合わせた大学数は552校だったが、2004年に709校に増えた。この間進学率は43.3%から49.9%までに上昇したが、18歳人口は約186万人から約141万人へと減少。2008年度には120万人台まで下降。大学・短大にとっては18歳人口が約205万人とピークに達した1992年頃が最も好い時代だった。その後、95年度177万人、96年度173万人と、減少が続き、少子化が進んでいる。

中国国内ニュース・文化・スポーツニュース

- *【新華社1月1日】中国中央電視台の総監督郎昆氏が、2005年酉年の春節(旧正月)特別(←の方が日本では分かり易い?)番組の司会の人選を決めた。昨年の同番組司会であった李咏、朱軍、周涛は引き続き主催者を担当し、中央電視台の新人董卿が倪萍に取って代わることになる。
- *【新華社1月2日】2005年1月6日、中国大陸(香港、マカオと台湾を除く)の総人口は13億になった。一人っ子政策の実施により、「世界60億人口の日」と「中国の13億人口の日」の到来をそれぞれ4年間遅らせた。
- *【人民日報1月4日】2004年の中国国産映画の年間興行収入は史上最高の36億元となり、2003年の22億元より66%増えた。
- *【人民日報1月5日】北京市に暮らす人口(戸籍人口1159万5千人・流動人口を含む)は、昨年12月現在で1524万4千人に達した。
- *【新華社1月5日】中国全国の流動人口は、1993年の7000万人から2003年の1.4億人に増加。農村における労働力の約30%を占めている。
- *【新華社1月5日】2000年に実施した第5回中国国勢調査によると、総人口のうち、15~64歳までの労働年齢人口が占める割合は70.15%と最も大きく、働く年齢の人口のピークが一番早く到来する。
- *【人民日報1月6日】現在の中国の60歳以上の人口は、世界の60歳以上の人口の約20%に達している。中国の高齢化のピークは2030年ごろになる見通し。
- *【新華社1月6日】現在の中国国内総生産は1978年の

*【新华社1月6日】 从1978年至今,中国国内生产总值增加了8.4倍,而人口只增长了35%,实现人均GDP增加了6倍。

*【新华社1月6日】 预计中国将在2032年前后出现人口高峰,届时人口总量将达到14.7亿人左右。

*【人民日报1月9日】 去年中国的出境总人数达2850万人次(比2003年增加了41%、比2002年增加了72%)。

*【人民日报1月12日】 2004年的中国贸易总额达1万1547亿4000万美元,比上年增长35.7%、3037亿美元。是加入世界贸易组织(WTO)前,即2001年的2.3倍,其中,出口5933亿6千万美元(比上年增长35.4%)、进口为5613亿8千万美元(同比增加36%)、实现贸易黑字319亿8千万美元。

*【人民日报1月13日】 2005年度高等教育机关(大专、大学、研究生院)的招生名额预计将达510万人以上。其中专科(大专)和本科(系)的招生人数为475万人(比上年增长约8%)、硕士课程招生名额为31万6千人(同比增加15%)、博士课程的招生名额为5万5千人(同比增加2%)。

*【新华社1月13日】 京哈、京沪、京广等线路实施的第六次大面积提速准备工作已经展开,提速后铁路客车运行时速将达到200公里。全国铁路时速120公里以上的线路延展长度将达到22,000多公里,其中5300多公里将达到时速200公里。

*【新华社1月13日】 到2004年底,中国高速公路通车里程已超过3.4万公里,继续保持世界第二。

*【新华社1月19日】 “6万元-50万元”,这是界定中国城市中等收入群体家庭收入(以家庭平均人口三人计算)的标准。在中国,“中产”首次得到了这样清晰的数字化界定。

*【人民日报1月14日】 去年中国的出入境人数为2亿7500万人次(比上年增长23.59%)。

*【人民日报1月20日】 从1月23日起,介绍日本文化的中国第一个电视节目「东京印象」将在上海、北京、广州等全国11个城市的地方电视台播放。

*【人民日报1月21日】 去年,在中国大陆地区以观光目的入境人数累计达1亿904万人次,首次突破1亿人。旅游业外汇收入为257亿3900万美元。来自日本、韩国、俄罗斯、美国、菲律宾、马来西亚等国的游客占居前列。

*【人民日报1月21日】 中国在2007年前将发射的第一颗绕月探测卫星「嫦娥1号」的试样机的研究,制造进展顺利。预计在2007年前将发射一颗绕月探测卫星。

*“神舟六号”飞船将于今年9、10月间发射,航天员设为两名,计划飞行时间4到5天。而到中国载人航天的第二阶段即“神舟”七号,“神舟”八号时将进行太空行走、交互对接等实验。【新华社1月23日】

*2004年全国共发生道路交通事故517,889起,造成107,077人死亡,480,864人受伤。【中新社1月14日】

*【中新社1月18日】 中国目前森林面积1.75亿公顷,森林覆盖率18.21%,但森林覆盖率仅相当于世界平均水平的61.52%、居世界第130位。

*【中新社1月19日】 “十一五”期间,中国经济将保持稳步增长的态势。到2010年GDP将达到21.5万亿元左右,人均GDP将达到1900美元。预计“十一五”期间,中国经济年均增长速度将保持在8%左右。

8.4倍増やした。しかし、人口は35%しか増加していない。一人当たりのGDPは6倍増加した。

*【新华社1月6日】 中国は2032年頃に人口のピークを迎える。その際の人口総数は約14.7億人になるだろう。

*【人民日报1月9日】 昨年中国の出国者総数は延べ2850万人(03年比41%増、02年比72%増)であった。

*【人民日报1月12日】 2004年の中国の貿易総額は、前年比35.7%、3037億ドル増の1兆1547億4千万ドルで、世界貿易機関(WTO)加盟前である2001年の2.3倍に当たる。内訳は輸出が5933億6千万ドル(前年比35.4%増)、輸入が5613億8千万ドル(同36%増)で、319億8千万ドルの貿易黒字となった。

*【人民日报1月13日】 高等教育機関(短大・大学・大学院)の2005年度入学生の募集定員は、510万余りになる見通しだ。うち専科(短大)と本科(学部)の定員は475万人(前年比約8%増)、修士課程の定員は31万6千人(同15%増)、博士課程の定員は5万5千人(同2%増)。

*【新华社1月13日】 北京～ハルビン、北京～上海、北京～広州等の鉄道における第6回大幅スピードアップ準備作業は既に実施されている。スピードアップが実現された場合、旅客車の時速は200kmに達する。全国の鉄道のうち時速120km以上で走る路線は22,000km以上迄に延長され、うち、時速200kmで走る路線は5,300km余りに達する。

*【新华社1月13日】 2004年末現在、中国の高速道路の開通距離は既に3万4,000kmを超え、引き続き世界2位を維持している。

*【新华社1月19日】 “6万元～50万元”(1元は約13円)は中国都会の中産階層の所帯収入(所帯当たりの人口は3人として計算)の標準である。中国で初めて「中産階層」を明確な数字で表した。

*【人民日报1月14日】 昨年中国の出入国者数は延べ2億7500万人(前年比23.59%増)だった。

*【人民日报1月20日】 日本の流行や文化を紹介する中国初のテレビ番組「東京印象」が、1月23日から上海、北京、広州など全国11都市の地方テレビ局で放送される。

*【人民日报1月21日】 昨年中国大陸部における観光目的での入国者数は延べ1億904万人で、初めて1億人を突破。観光業の外貨収入は257億3900万ドルだった。日本、韓国、ロシア、アメリカ、フィリピン、マレーシアなどの国からの観光客が上位となっている。

*【人民日报1月21日】 中国が2007年までに打ち上げを計画している、中国初の月面探査衛星「嫦娥(じょうが)1号」の試作機の研究・製造が順調に進んでいる。2007年までに月周回衛星を1基打ち上げる予定。

*【新华社1月23日】 「神舟6号」有人宇宙船は、今年9～10月の間に打ち上げる見通し。飛行時間は4～5日間である。有人飛行の第二段階である「神舟」7号、8号では、宇宙遊泳とドッキング等の実験を行う予定。

*【中新社1月14日】 2004年における中国全国の道路交通事故発生数は517,889件で、死亡者は107,077人、けが人は480,864人であった。

*【中新社1月18日】 中国の森林面積は1億7500万haで、森林被覆率は18.21%である。しかし、森林被覆率は世界平均水準の61.52%にしか達しておらず、世界第130位である。

*【中新社1月19日】 2006年から2010年の第11次5か年計画期間に、中国経済は着実な成長を維持し、2010年には国内総生産(GDP)が21兆5千億元前後、1人当たり1900ドルに達する見通し。第11次5か年計画の期間中、中国経済は年8%前後の成長を維持するだろう。

*【中新社1月21日】 第3期正官庄杯世界女流囲碁最強戦(中国、日本、韓国3か国選手参加)の決勝戦で、芮乃偉九段が韓国の朴智恩を下し、中国初の団体勝ち抜き戦のチャ

*【中新社 1 月 21 日】 中日韩三国女子擂台赛决战, 芮乃伟九段战胜韩国朴智恩, 中国队夺得首个团体世界擂台赛冠军。

*【新华社 1 月 23 日】 今年中国汽车总需求量将达到 580 万辆, 增长 12%。其中轿车需求量为 275 万辆, 增长 17%。

*【新华社 1 月 23 日】 春节晚会的演员名单和具体节目中, 备受关注的赵本山、成龙父子、刘德华、那英、刘翔等均榜上有名。

*【新华社 1 月 23 日】 2004 年中国船舶工业全年造船完工量突破 850 万载重吨, 占世界市场份额达到 15% 以上, 连续 10 年居世界第三位。

*【中新社 1 月 25 日】 经初步核算, 去年国内生产总值十三点六五—五万亿元人民币, 比上年增长百分之九点五, 没有出现大的起落。

*【中新社 1 月 28 日】 广东户籍人口 7900 万人, 常住半年以上的流动人口 3100 多万, 总人口达到 1.1 亿, 另外还有半年以下的流动人口 1100 万, 目前广东是全国的第一人口大省。

*【中新社 1 月 29 日】 1 月 29 日中国国际航空公司 CA—〇八七航班于从北京首都国际机场起飞飞往台北, 大陆民航业实现了飞往台湾的半个多世纪的梦想。

*【中新社 1 月 31 日】 中国去年农民人均增加 300 块钱以上的收入。

ンピオンの座に輝いた。

*【新華社 1 月 23 日】 今年、中国全体の自動車需給量は前年比 12% 増の 580 万台に達する見込み。うち、乗用車の需給台数は 17% 増の 275 万台に達する。

*【新華社 1 月 23 日】 春節（旧正月）特別番組の俳優（出演者）リストに、注目されている趙本山、ジャッキー・チェン親子、劉德華、那英、劉翔の名が連なっている。

*【新華社 1 月 23 日】 2004 年の中国の船舶工業における年間造船竣工量は 850 万積載 t を突破した。世界に占めるシェアは 15% を上回り、10 年間続けて世界第 3 位を維持した。

*【中新社 1 月 25 日】 初期的な推計によると、2004 年の国内総生産は 13 兆 6515 万億元となり、前年比 9.5% 増加し、大きな上げ下げはなかった。

*【中新社 1 月 28 日】 広東省の戸籍人口は 7900 万人で、半年以上常住した流動人口は 3100 万人以上で、総人口が 1 億 1000 万人に達し、その他、常住が半年以下の流動人口は 1,100 万人で、目下、広東省は全国で人口が一番多い省となっている。

*【中新社 1 月 29 日】 1 月 29 日中国国際航空公司の CA1087 便は北京首都国際空港から台北へ飛び立ち、50 年余り前、大陸民航の、台湾への飛行したかった夢は実現した。

*【中新社 1 月 31 日】 昨年、中国農民の一人当たりの収入は 300 元以上増えた。